

◎ 平成23年7月22日採取分をもって、益田市分の環境試料、及び特に検出頻度の低かった「大気中のヨウ素」について、当面採取を休止することとしました。

これまでの測定結果から、「大気中のちり」「大気中ヨウ素」「降水」からの人工放射性核種の検出頻度は相当に低くなっており、県の東西部（松江市・益田市）での検出傾向も類似していることから、監視体制を見直し、その時々により必要となる測定（例：放射性物質に汚染された稲わらを給与した可能性のある牛の肉に関する放射性核種分析など）に備えることとしたものです。

なお、県では、今後も松江市分の測定結果や福島第一原子力発電所から大気中への放射性物質の放出状況等を注視し、状況に応じて益田市分の試料採取を再開するなど、必要な対応をとることとしています。